

表紙解説 サギの集団ねぐら

表紙写真は、埼玉県川越市伊佐沼で撮影したサギの群れ（集団ねぐら）です。水田や河川などで見られる白いサギは、夕方になるとねぐらと呼ばれる場所に集まり、夜には群れで眠ります。一見すると、同じ種類のサギが集まっているように見えますが、実はここには3～4種のサギが写っています。これらのサギは、ダイサギ、チュウサギ、コサギという“シラサギ”と総称されるサギたちです（アマサギもシラサギに含まれることがあります）。「シラサギっていう種がいるのかと思っていた」「みんな真っ白で、違いなんてさっぱり分からないよ」という方も多いかと思います。私たちを悩ます“そっくり具合”こそが、このサギたちが群れる理由とメカニズムに大きく関わっています。

群れる鳥の秘密に迫る！

このような鳥の群れに着目した特別展「群れる鳥」を令和7年10月25日（土）から令和8年2月23日（月・祝）まで開催します。ムクドリの群れを見てゾワゾワとした感覚を覚えたり、ハクチョウの群れを見て「綺麗なあ」と思ったりした経験はないでしょうか？中には、鳥の群れが題材になった美術・文学作品を見て感銘を受けたことがある人もいるかもしれません。私たちの生活や文化には、想像以上に群れる鳥が関わっています。



“シラサギ”と称される白いサギたち

そんな鳥たちは、決して私たちを驚かせ感動させるために集まっているわけではありません。厳しい自然の中で生き抜くために、様々な目的をもって群れをつくっているのです。そして群れの中では、協力・競争・利用など、昼ドラも真っ青な複雑な関係が成り立っていて、それに伴うユニークな行動が見られます。

本展示では、群れる鳥を、文化・芸術・生態・行動といった様々な面から紹介します。この展示を見れば「どうして鳥は群れるのか？」という疑問が解消されること間違いなしです。“シラサギ”がそっくりすぎる謎も、是非特別展で解き明かしてくださいね！

展示のお知らせ（10月～3月）

	タイトル	期 間	内 容
特別展	群れる鳥	10月25日（土）～ 2月23日（月）	絵画のモチーフやニュースの一幕として、私たちが魅了し恐怖させる鳥の群れ。どうして鳥は群れをつくるのでしょうか？その理由や群れる鳥のユニークな生態などを紹介します。
企画展	植物たちの生き残り術	3月 7日（土）～ 6月14日（日）	自由に動き回ることのできない植物たち。彼らは棘や毒を備えたり、景色に溶け込んだりと様々な方法で身を守っています。植物たちの驚きの生き残り術について紹介します。
トピック展	埼玉のきのこ	10月 7日（火）～ 1月25日（日）	絶滅危惧種のきのこや愛称で親しまれているきのこなど、県内で見られる代表的なきのことその生育環境を紹介します。
	古秩父湾 国・天然記念物指定10年のあゆみ	1月31日（火）～ 6月14日（日）	国天然記念物指定から10年の節目を迎える「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」の普及活動のあゆみを振り返りながら、古秩父湾の学術的価値を解説します。

※開館時間：9：00～16：30（7・8月は17：00まで） 入館は閉館30分前まで

※休館日：月曜日（祝日、振替休日、GW、7・8月は開館） 燻蒸のため休館：9月5日（金）～9月12日（金） その他、臨時休館あり

※その他イベントについては、リーフレット（展示・イベント案内）またはホームページ（<https://shizen.spec.ed.jp/>）をご覧ください